

学校名 美里町立東児玉小学校
所在地 児玉郡美里町阿那志13
電話 0495-76-0335

1 本校の概要

本校は、県北西部に位置し、遠くに上毛三山が見渡せる緑豊かな田園地帯の中央に立地している。児童数267名の中規模校である。地域との結び付きが強く、読書活動における関わりをはじめ、登下校の見守りや米作り等、様々な場面において、地域の方に子供たちの教育活動を応援していただいている。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣にかかわる取組
- ・学校図書館の環境整備の工夫

(2) 実践の概要

ア 朝読書・読み聴かせ

毎週月曜日の朝を読書の時間に位置付け、全校で読書を行った。年間20回程度、図書ボランティアの方に



【図書委員会の児童による紙芝居】

来校いただき、1～3年生を対象に読み聴かせをしていただいたり、図書委員会の児童による紙芝居をしたりした。

イ 読書記録カードの活用

1・2年生120冊、3・4年生7000ページ、5・6年生8000ページを年間目標に掲げ、学校や家庭で読書し、読み終わったら読書記録カードに記録させた。また、読書の記録を月末に確認し、年間の目標が達成できるよう働きかけた。

ウ 学校図書館の環境整備

ブックカバーを掲示し、新しい本が入ったことを児童に知らせた。また、図書委員会で季節にあった本を紹介するコーナーを作った。

【新しく入った本を紹介する掲示】



【季節の本の紹介コーナー】

子年ということで、ねずみが出てくる本を紹介した。



3 成果と今後の課題

(1) 成果

ア 読み聴かせにより、文字を読むのが苦手な児童もお話の世界を楽しむことができた。

イ 年間の読書目標を決めることで、読書の習慣が身に付いた児童もいた。低学年では、週に1回程度、担任指導のもと、国語の時間に本の貸し出しを行うことができた。また、机の横に図書バックを掛け、本をすぐに取り出せるようにしたことで、ちょっとした時間にも読書をする児童の姿が見られた。

ウ 図書委員会の児童が楽しみながら、季節コーナーを作っていた。紹介コーナーを作ることで、様々な種類の本に興味をもつ児童もいた。

(2) 課題

イ 読書が好きな児童と苦手な児童で取組に差がある。苦手な児童にも本が好きになってもらえるように働きかけたり、学年に合った内容の本を紹介したりする等の手立てを考える必要がある。

(3) おわりに

これからも読み聴かせや朝読書を継続し、図書 환경을整え、読書への意欲を高めていきたい。